大阪城
2021 5/10 (月) 14163号
全港湾 西成分会
☎06-6647-4947

沖縄・奄美は、すでに5/5ごろ、梅雨に入ったようだ。関西は、平年は6月はじめ梅雨に入る。そして、熱くなるので、熱中症に注意しなければならない。今年もはや半分が過ぎようとしている。

目には見えないのに、コロナウイルスの全面的登場で、季節の移りかわりや色あいも、コロナウイルスにおしつぶされてきている。

高齢の人がふえてきた西成・釜ヶ崎では、これから夏の峠を越すのが生命(いのち)がけになる。

無事、今年も秋風を感じられるかが勝負になりそうです。その上に、昨年以上にとりわけ関西はコロナウイルス日本一の中で生き抜くので、細心の気づかいと実行が生命(いのち)です。

世間では、まだオリンピックうんぬんとやっている。きう、台風の中に入ってしまっているので、手遅れです。やろうが、やめようが、「決定・判断」が時期を失ったので、混乱、大混乱は必至です。

「日本の一番熱い夏」をくぐりぬけた、秋風の吹く日本社会の風景はどんなものになっているんでしょうか。選挙年は終っているだろうか。

3度目の「緊急事態宣言」延長、今月いっぱい

変異株蔓延おさまらず、「医療崩壊」続く

「11日までの短期集中で抑え込む」と発動された3度目の新型コロナウイルス対策。結果は全国的な蔓延拡大でちょっと収拾がつかないことになり、適用地域の拡大、「蔓延防止等重点特別措置」の適用も追加的に広げることとなって、国民の疲労感・徒労感がどっと出ると言う結果になっています。

今回の措置で感染者を押し込めて念願のオリンピック開催を強行しようとしていた政府、いよいよ誰が見ても「無謀な行為」でしかないことが明らかになって国民の7割以上が反対か懐疑的な意見になっていても、突撃突破の「玉砕路線」で突っ込むしかないという構えのようです。

私たちの身近な所でも感染者が頻発して出ているようですが、すでに府にしても市にしても感染経路を追ったり「濃厚接触者」を調べることはできない、しない方針なので拡散は抑えられません。

昨日のテレビで大阪の1000人当たりの死者はインドよりも多いという報道がありました・大変です。